

労働災害発生のしくみ

労働災害とは、お仕事中や通勤中のケガや病気、または死亡することを指します。労働災害の多くは、不安全な状態と不安全な行動が重なったときに発生します。

不安全な状態



不安全な行動



労働災害発生!

▼ まずは不安全な状態と不安全な行動について見ていきましょう ▼

不安全な状態

環境・設備そのものが危険な状態

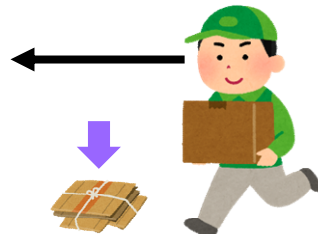


物が放置された通路

灯りが少ない夜道

不安全な行動

人が起こす危険な行動・判断



足元を見ずに移動

速度超過の運転

▼▼ 引き続き労働災害の例を見ていきましょう ▼▼

業務上災害

お仕事中に発生する災害

歩行中、通路に放置されていた台車に足を引っかけて転倒し、手を打撲



不安全な状態 ▶ 通路に放置された台車

不安全な行動 ▶ 足元を確認していなかった

通勤災害

通勤中に発生する災害

雨天時に急いで帰宅中、ぬれたマンホールふたに足を滑らせ転倒し、腰部を骨折



不安全な状態 ▶ 雨にぬれたマンホールふた

不安全な行動 ▶ マンホールの上を歩いた

下記の注意点を守ることで、労働災害の防止につなげることができます。

- ✓ 職場ルール・交通ルールを正しく守る
- ✓ 足元・周囲をよく確認する
- ✓ 作業中に身の危険を感じたときは現場リーダーまたは営業担当へ報告する

★今月の安全衛生川柳 ～ ルールを守ることを常に心がけて、ケガをしないよう行動しましょう！

無災害 ルールを守る その心

(福知山営業所 スタッフさんの作品)